

平成30年度第1回江別市経済審議会会議録（要旨）

日 時	平成30年7月4日（水） 14:00～16:30
場 所	江別市民会館（21号室）
出席者（11）名	会 長/井上誠司 副会長/平澤亨輔 委 員/中野亮二、塩越康晴、和田美和、山崎雅江、佐山慶司、岸本佳廣、鈴木耕裕、森田芳明、池田太郎、岡村恵子
事務局（18）名	経済部長、経済部次長、商工労働課長・参事（2名）、農業振興課長、企業立地課長、総合特区推進担当参事、農業委員会主幹、企業立地課主幹（2名）、商工労働課主査（3名）、農業振興課農政係長、ほか3名
欠席者（6）名	委員 /小走 安則、坂上 伸也、松浦 智幸、杉野 邦彦、皆川 和志、森田 芳明
議 事	報告事項 （1）経済部各課主要施策概要等について

会議録（要旨）

商工労働課長	開会のことば
経済部長	委嘱状交付、挨拶
商工労働課長	会議成立報告
経済部長	経済部職員紹介（課長職以上挨拶）
会長	本日の議題は、お手元の次第のとおり、報告事項が1件ございます。 初めに、次第の4、報告事項の（1）、「経済部各課の主要施策概要等」について事務局より説明願います。
商工労働課長	（資料6～8）経済部の組織機構及び事務分掌等について説明
会長	ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見等ございましたらお受けしたいと思います。
一同	なし
会長	続きまして、「平成30年度観光振興関連予算」につきまして、事務局よりご説明願います。
商店街・観光振興担当参事	（資料1）「平成30年度観光振興関連予算」について説明
会長	ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見等ございましたらお受けしたいと思います。
中野委員	地域発見魅力発信事業のものづくりワークショップについて、具体的には何をやっているのか？
商店街・観光振興担当参事	EBRIで、主に親子を対象に、江別ならではのものづくりを行っている。今年度第1回目のワークショップも先日開催したところ。親子で楽しめるようなものづくりをとおして、江別の魅力を発信していく。

会長	ほかに、質問・意見はありませんか。 続きまして、「地域雇用・産業連携所管の主要事業」につきまして、事務局より説明願います。
地域雇用・産業連携担当参事	(資料2) 「地域雇用・産業連携の主要事業」について説明
会長	ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見等ございましたらお受けしたいと思います。
中野委員	有給インターンシップ等地域就職支援事業については、インターンシップの期間は1社1年間か？その間のインターンシップの日数及びその間の賃金は、登録学生のうち実際の参加学生ほどのくらいであり、また、参加企業の業種はどのようなものが多いのか教えてほしい。
地域雇用・産業連携担当参事	インターンシップの期間は、原則、最長12ヶ月。ただし、企業からの要望により、業務内容を変えて、12ヶ月以上参加することもありうる。賃金は受け入れ企業によるので最低賃金とは限らない。登録学生のうち、インターンシップに参加した学生は、昨年度は46人。業種は、大学の講義が終わった夕方以降に受け入れるため、傾向としては飲食業が多い。
中野委員	12ヶ月のうち、インターンシップで企業に行くのはどのくらいの日数か。
地域雇用・産業連携担当参事	週末だけの学生や平日に行く学生もいるので、学生の事情等によって変わってくる。
中野委員	働きたい女性のための就職支援事業における人材育成事業について、日数や、実務研修の内容は？
地域雇用・産業連携担当参事	座学が20日程度。実務研修は実際に市内企業で働いてもらい、本人と企業の事情が合えばそのまま働いていただく。
会長	有給インターンシップ等地域就職支援事業で江別市内に就職した人数は？
地域雇用・産業連携担当参事	平成28年度は1人。それ以降は聞いていない。
岸本委員	起業についての支援は含まれているのか。
企業立地課長	起業支援は、学生・社会人問わず行っている。中小企業診断士との相談支援や、一般の方を対象としたセミナーの開催などを行っている。
佐山委員	有給インターンシップ等地域就職支援事業では平成29年度の新規登録学生は24人と考えてよいのか。また、KPIなどの設定はあるのか。
地域雇用・産業連携担当参事	平成28年度に卒業し、かつ、平成29年度に新規に加入した方を加えると、平成29年度の登録学生は93人ということになるという意味。 地方創生推進交付金への報告におけるKPIは、インターンシップ派遣人数で、平成29年度は45人、平成30年度は55人で予定している。

山崎委員	働きたい女性のための就職支援事業における人材育成事業及びマザーズセミナーについて、参加者の年齢層と希望する就労先は？
地域雇用・産業連携担当参事	資料は平成30年度の“予定”であることをご理解いただきたい。過去には、20代から50代まで幅広い年齢層にご参加いただいた。離職した方の就職希望なので、特に30代から40代が人数的には多い。マザーズセミナーはハローワークとの共催。ハローワークから就職したのは10数人と聞いている。
会長	ほかに、質問・意見はありませんか。 続きまして、「第4次江別市農業振興計画の策定」につきまして、事務局より説明願います。
農業振興課長	(資料3)「第4次江別市農業振興計画の策定」について説明
会長	ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見等ございましたらお受けしたいと思います。
池田委員	前計画の結果はいかがか。江別市ならではの都市型農業の定義はあるのか。農業者へのアンケート調査とはどのようなものか。
農業振興課長	大消費地から近距離であり、農畜産物の種類や経営が多様である、また、食関連産業の集積や大学との連携が進んでいるという特徴があり、このことを生かし、江別市独自の都市型農業を目指していく。アンケートは第3次江別市農業振興計画における内容を継承するが、GAP(農業生産工程管理)の取り組み、えみくるの利用状況なども加えていきたい。前回の農業振興計画の検証は、事務事業評価、えべつ未来戦略の指標等でみている。
会長	アンケート調査の内容はこの場で皆様にご覧いただくことはできるのか？
農業振興課長	アンケート内容は、農業形態、家族構成、後継者の有無など。7月に発送するので調査後に確認いただくこととなる。
会長	気になる場合は、農業振興課長に尋ねてよいか。
農業振興課長	了。
岡村委員	農畜産物の高付加価値化について、以前より6次化は高齢化などで下火になっている。6次化についてどうお考えか。また、販路拡大についても行きづまりを感じているが、ブランド化において江別のこれというものが定着することについてどうお考えか。
農業振興課長	アンケート調査結果を踏まえ、経済審議会で協議し、方向性を決めていく予定。今後の取り組みについて、6次化は個人で行う方法もあり、農家と加工販売業者で手をとる方法もあるが、どちらの動きも活発になっていけばよい。市としてできる限りの支援はしていきたい。ブランド化について、ハルユタカ、えぞ但馬牛、プロッコリー、瑞穂のしずくなど、江別の農畜産物のPRになる取り組みをしていきたい。
塩越委員	地産地消について、新しく考えていることはあるのか。えべつ未来戦略についてこれまでと違うところは何か。
農業振興課長	地産地消は特に変わるところはないが、食育も含めて取り組んでいきたい。えべつ未来戦略は、「食」と「農」の魅力向上ということで、昨年度「江別市観光振興計画」も策定されたことから、観光と関わる分野でも取り組んでいきたい。

会長	<p>農業に携わっている者としてコメントさせていただきたい。昨年度、「江別市観光振興計画」が策定され、「食」と「農」の豊かなみどり～れんがと歴史にふれるまち～というキャッチフレーズが江別市の観光像として示された。つまり、農業、れんが産業、観光業といった江別市の基幹産業を連携させながら振興するチャンスは今だということである。農業振興計画にもこの点を踏まえる意義はあると思う。れんがといった地域資源を活用して観光振興を行っている市町村はある。埼玉県深谷市がその一例である。ここでは廃止・閉鎖されたれんが関連の施設や建物を観光資源として活用している。一方では江別市の場合、現在もれんがが製造され、現役のれんが関連施設があるにもかかわらず、それらが観光資源として有効活用されていないように思われる。見過ごせないのは、江別市で製造されるれんがは地域農業と深い関わりがあるという点である。れんが暗渠はその典型である。そこで、れんが暗渠の設置作業見学ツアーなどを実施してみてはどうだろうか。観光を通じて、江別市のれんがと農業を同時にPRできるチャンスになると考えられる。</p> <p>また、食についてもれんがは活用できる。全国的にダムカレーが流行っているが、それにあやかって「れんがピザ」や「れんがシフォンケーキ」などを食おこしの一環として売り込んでみたらどうだろうか。もちろん原料は江別産の小麦粉ないし米粉とするのである。それらを求めて観光客がやって来れば、農業、れんが産業、観光業を同時に発展させるチャンスとなり得る。</p>
会長	<p>ほかに、質問・意見はありませんか。 続きまして、「RTNパークの現状」につきまして、事務局より説明願います。</p>
企業立地課長	(資料4) 「RTNパークの現状」について説明
会長	ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見等ございましたらお受けしたいと思います。
岸本委員	起業セミナーを行っているということだが、実際に起業した方はどれくらいか。
企業立地課長	例年、年間で相談が30件ほど。うち、例年、3人ほどが起業している。当該年度すぐにとはならなくても、数年相談した後に起業することもある。
会長	<p>ほかに、質問・意見はありませんか。 続きまして、「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」につきまして、事務局より説明願います。</p>
総合特区推進担当 参事	(資料5) 「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」について説明
会長	ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見等ございましたらお受けしたいと思います。
塩越委員	食品の安全性・有効性はどのように調べているのか。
総合特区推進担当 参事	北海道情報大学の健康情報科学研究センターで、食の臨床試験を行っている。市民ボランティアの協力も得て、安全性・有効性の評価を行っている。
平澤委員	食品の輸出額として、どれくらいの企業が、どれくらいの販売実績を上げているのか。平成29年度の輸出額・輸入代替額162.8億円の内訳は。また、海外プロモーションに参加している企業数はどれくらいか。
総合特区推進担当 参事	販売実績は対前年比で5%増、北海道全体で162.8億円。江別市分としては公表していない。今年度は北海道国際流通機構への負担金を支出し、様々な企業に合った支援を行う予定。(海外プロモーションには)毎年、5企業程度参加している。

鈴木委員	(ヘルシーDoに認定されている) 4社9品目については、どれくらいの売上になっているのか? 輸出はしているのか?
総合特区推進担当参事	個々の売上は把握していない。今のところ、海外輸出の事例は聞いていない。
塩越委員	ヘルシーDoの機能性の内容は?
総合特区推進担当参事	例えば、西洋かぼちゃ種子油は尿もれ改善の効果がある。ただ、(ヘルシーDoの)機能性は表示できないことになっている。トクホと機能性表示食品は効果・効能を表示できる。「健康でいられる体づくりに関する科学的な研究が行われたことを北海道が認定するものです」という表示ができるのみ。申請件数も伸び悩んでいる。
塩越委員	薬効に期待している人が興味を持つだろうが、良い効果を表示できないのは、いかがなものか。
総合特区推進担当参事	(表示できるように) これまで北海道が国の機関に働きかけていると聞いている。
岡村委員	シンガポールで事業展開できているところはあるか。
総合特区推進担当参事	ある。商品名は出せないが、スイーツ系。
会長	ほかに、質問・意見はありませんか。 全体をとおして何か、ご質問、ご意見ございましたらお受けしたいと思います。
岡村委員	地域おこし協力隊の活動は、パンMAPを作ったり、SNSで飲食店を紹介したり、身軽な発信がいいと思った。(市も) もっと発信の仕方があるのではと思った。
会長	その他の項目で事務局から何かございますか。
商工労働課長	経済審議会の今後の予定について説明
会長	以上で議事を終了します。
商工労働課長	閉会のことば